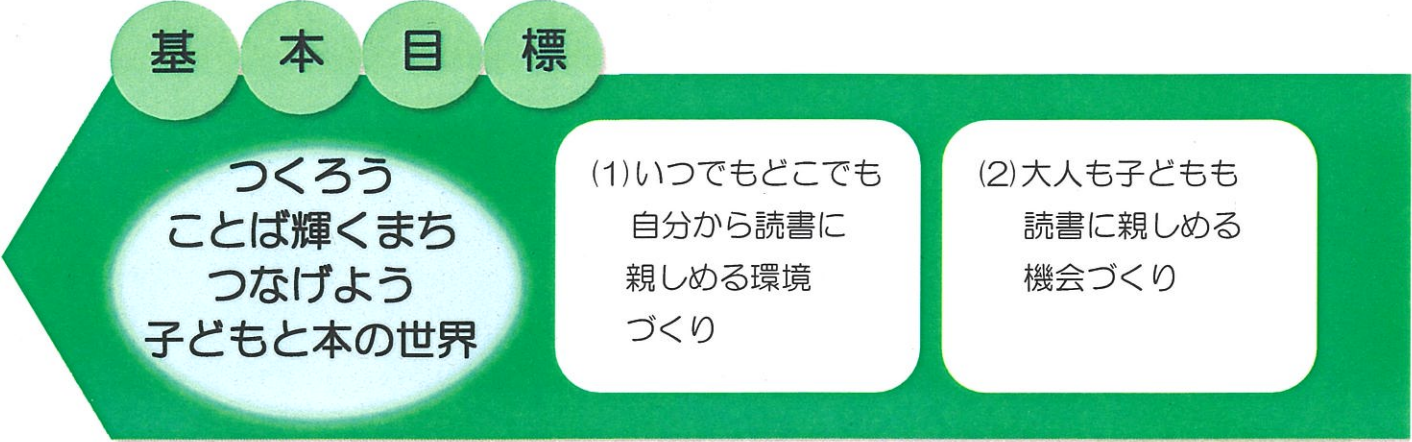
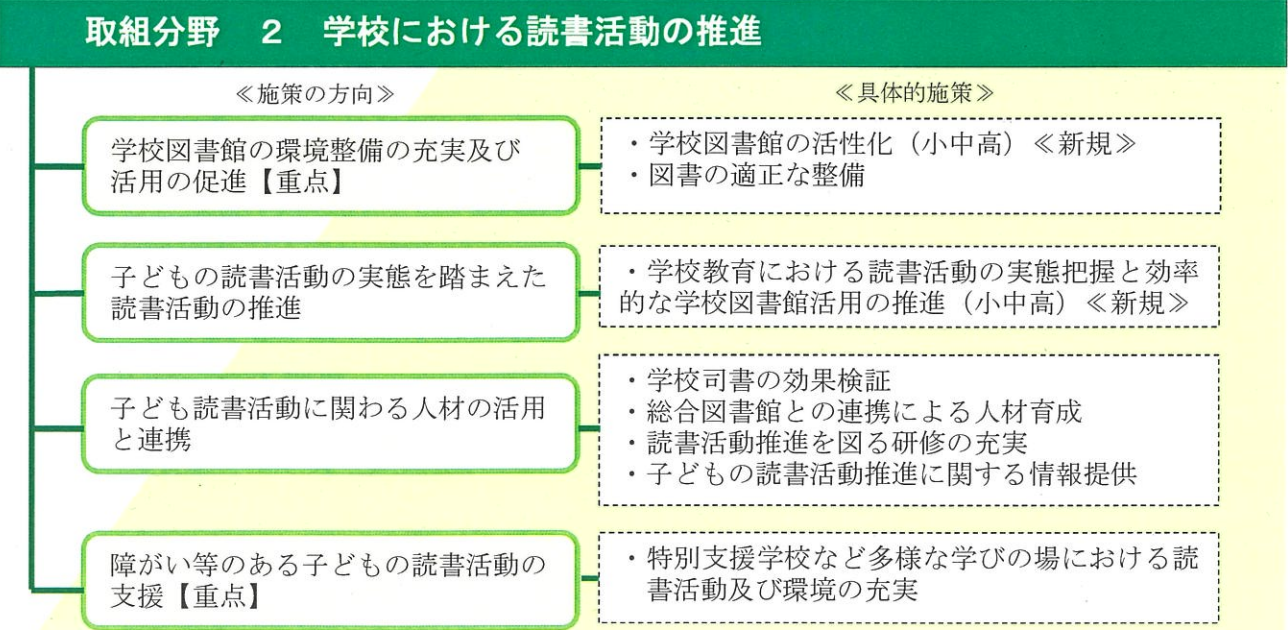
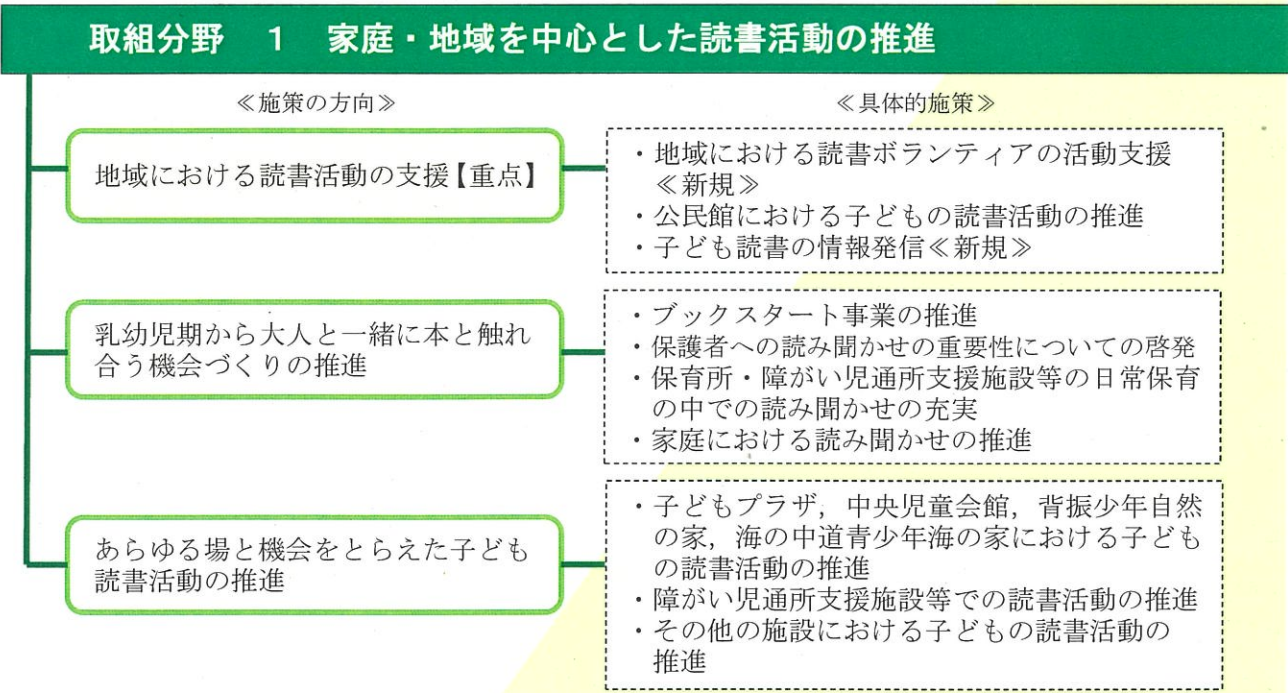


福岡市子ども読書活動推進計画（第3次）体系図

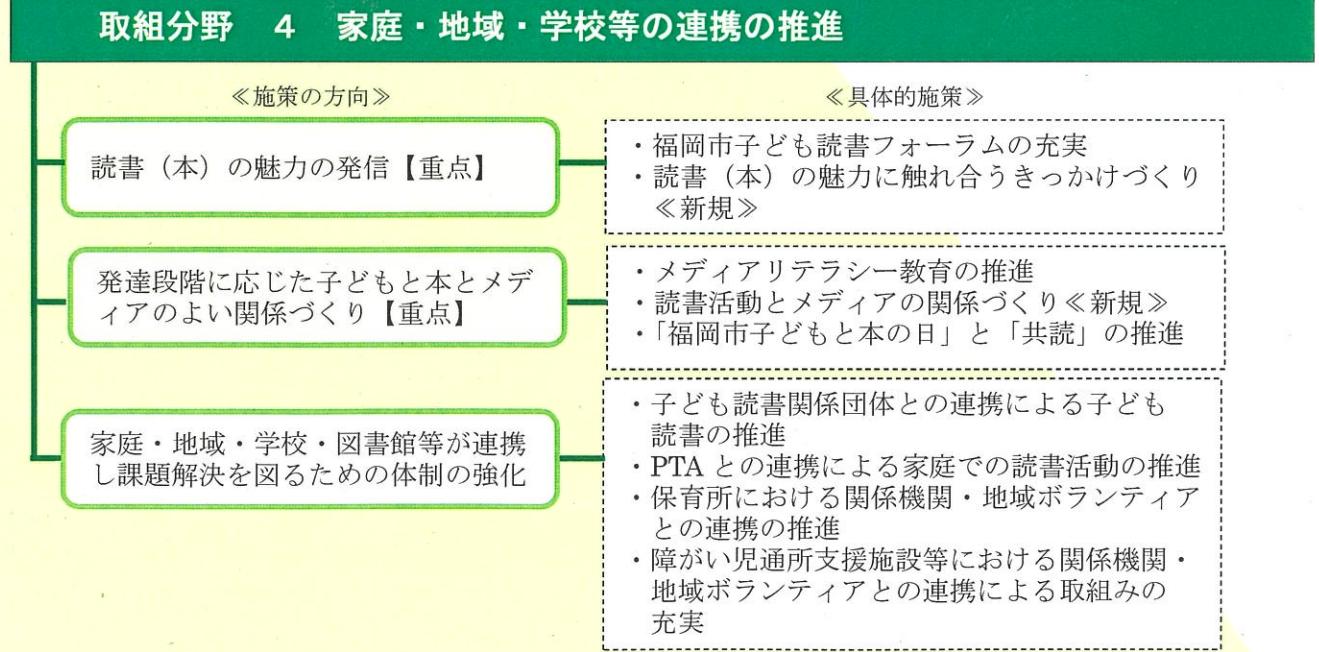
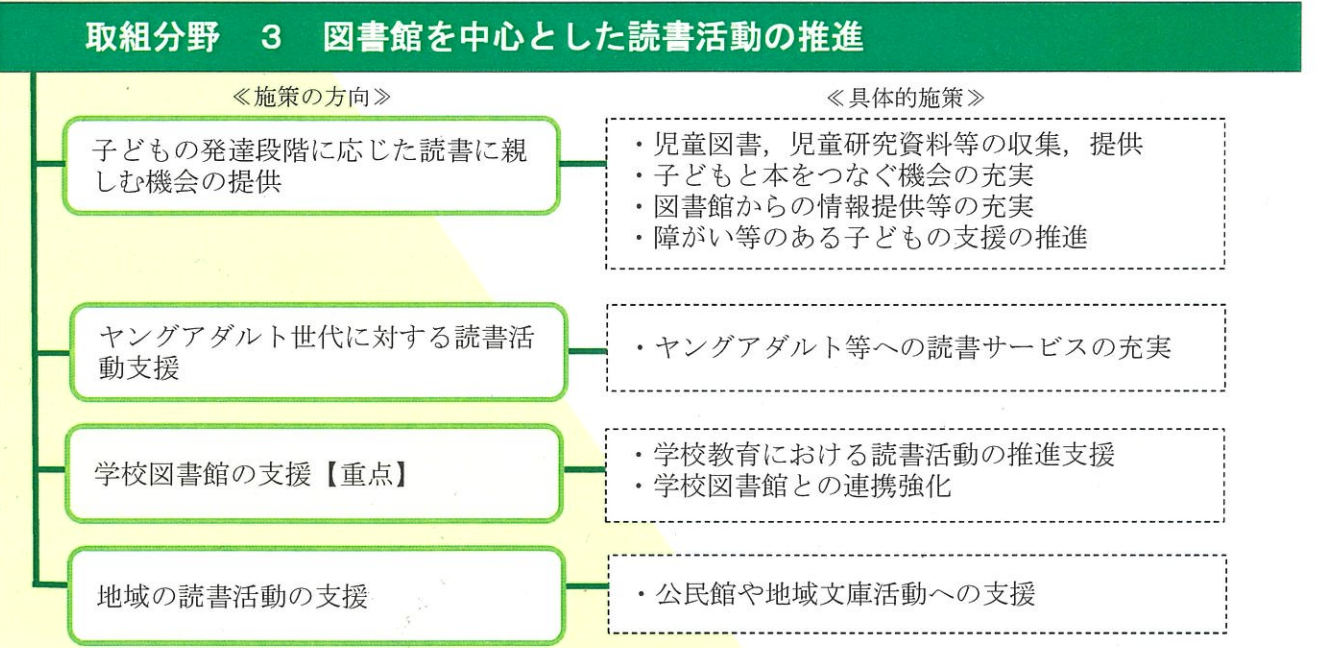
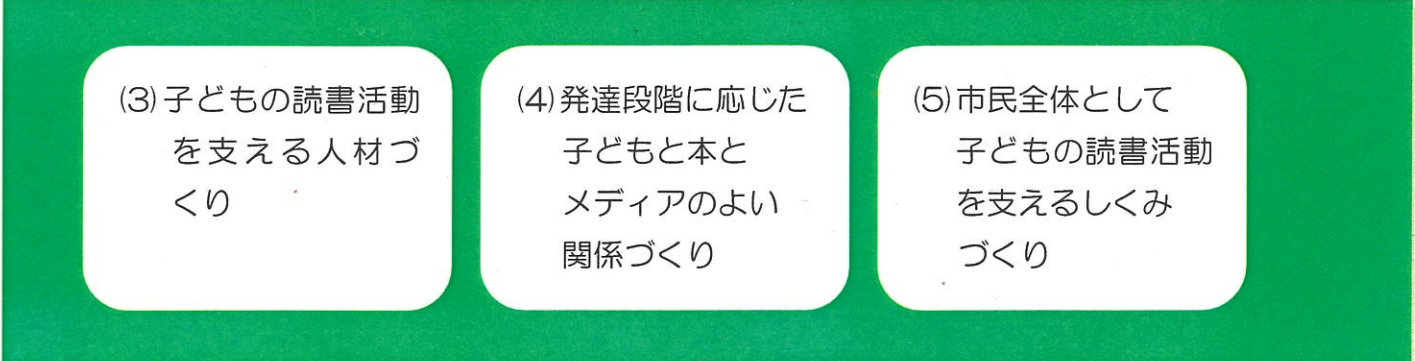


※【重点】・・・重点的に取り組む施策



■数値目標■

- *読書が好きな子どもの割合・・・90%以上
- *1か月に本を1冊以上読む子どもの割合・・・5%増



福岡市子ども読書活動推進計画（第3次）進捗状況一覧

<<基本目標>>
(1)いつでもどこでも自分から読書に親しめる環境づくり
(2)大人も子どもも読書に親しめる機会づくり
(3)子どもの読書活動を支える人材づくり
(4)発達段階に応じた子どもと本とメディアのよい関係づくり
(5)市民全体として子どもの読書活動を支えるしくみづくり

⑤計画目標達成度

1 順調
2 おおむね順調
3 やや遅れている
4 遅れている

1. 家庭・地域を中心にした読書活動の推進

施策の方向	具体的施策	担 当 課		①基本目標	②施策の目標	③計画策定時における内容	④令和元年度実施状況	⑤計画目標達成度 ※③の達成度を1～4のいずれかを選択	⑥備考 成果等報告事項、取組遅滞の理由等
		局	課						
地域における読書活動の支援【重点】	1 地域における読書ボランティアの活動支援《新規》	教育委員会	生涯学習課	(3) (5)	学校や公民館等と地域におけるボランティアとの連携を図り、読書ボランティアの活動の場を広げる。	「読書活動ボランティア交流会」ボランティアの希望者と、公民館等のボランティアニーズのマッチングを行う。	R1.9.3 読書活動ボランティアをつなぐ交流会開催 あすみんセミナールーム 参加人数31名	2 おおむね順調	地域で活動したいボランティア希望者と公民館等とのマッチングが地域によっては難しく、より多くのボランティア希望者の参加が必要
	2 公民館における子どもの読書活動の推進	教育委員会	生涯学習課	(1) (5)	地域における読書活動を支援するために公民館の読書活動を支援する。	スタンダード文庫の活用状況を把握し、より一層スタンダード文庫の活用を図るために読み聞かせ講座等を実施し、公民館の読書活動を支援する。	スタンダード文庫読み聞かせ講座を実施中 実施希望20公民館中16館実施済み 234名参加	2 おおむね順調	スタンダード文庫の認知度が低いため、こども未来局作成の「子育て情報ガイド」公民館ページでも広報
		市民局	公民館支援課	(1) (2)	子どもが読書に親しむ環境づくりを推進するとともに、文庫活動や読み聞かせサークルへの支援に努める。	「公民館における子どもの読書活動の推進と支援」子どもから大人まで、市民が気軽に公民館へ立ち寄り、読書に親しむ機会を提供するとともに、図書館の団体貸出の活用や、質の高い図書の読み聞かせ活動への支援を促進する。	公民館で総合図書館やスタンダード文庫等を利用した一般貸出を実施 地域団体の文庫活動に対し、公民館の本の活用、ボランティアの発掘につなげる事業の開催などによる支援のほか、団体とともに読み聞かせなどの事業を実施	2 おおむね順調	成果を示す活動の回数や利用人数等は、年度終了後に報告することとしている。
	3 子ども読書の情報発信《新規》	教育委員会	生涯学習課	(1) (2) (4)	若い世代の未就学児の保護者に対し、メディアを活用して、身近な読書情報の提供を図り、幼少期からの読書活動推進を図る。	未就学児の保護者等に対し、地域の読書に関する情報や、図書館からの新刊情報などをSNS等を活用し情報発信する。	福岡市LINE（こども未来局への依頼）を利用して発信予定 スタンダード文庫読みきかせ講座で好評だったわらべ歌や父親の読みきかせについて発信内容を検討中	3 おおむね順調	
乳幼児期から大人と一緒に本と触れ合う機会づくりの推進	4 ブックスタート事業の推進	こども未来局	こども発達支援課	(2)	絵本を通して、親子が相互に語りかけることの大切さ、楽しさ等を伝える。	「ブックスタート事業」4か月児健診時に絵本の配付、ボランティアによる絵本の読み聞かせ等を実施する。（平成16年8月開始）	4か月児健診時に絵本の配布、ボランティアによる絵本の読み聞かせ等を実施	2 おおむね順調	
	5 保護者への読み聞かせの重要性についての啓発	こども未来局	指導監査課	(4)	・家庭における読み聞かせが習慣となる。 ・「福岡市こどもと本の日」の取り組みが、保護者に広く認知されて読み聞かせが意識づけられる。 ・読み聞かせ等を通して親子の絆を深め、親子とも情緒の安定を図る。	・保護者会やクラス懇談会、育児講座等で、各年齢に応じた絵本の取り組みや家庭における読み聞かせの重要性について保護者啓発を行い、読み聞かせの楽しさや大切さを伝え、家庭における読み聞かせを推進する。 ・「絵本の日」や「読み聞かせ会」等の開催、絵本貸出しの充実を図る。 ・絵本への興味や関心が高まるような環境をつくる。	・家庭訪問、保育参観、懇談会、保護者職員合同研修会、育児講座等を利用し、絵本のよさや読み聞かせの大切さを積極的に伝え、読み聞かせの良さを体験してもらった。 ・毎月1回程度、23日のノーメディアデー等に絵本の読み聞かせ会を開催。また、ポスター等を作成し、参加を呼びかけた。 ・貸出絵本を適宜実施 ・絵本コーナーは月ごとに装飾し、温かい雰囲気づくりをした。定期的に入れ替えて内容を充実させ、絵本に興味を持てるような環境を整えた ・保育所で毎日絵本の読み聞かせや、保育室等に読み聞かせを行った絵本を掲示 ・平和保育や人権研修等で紹介した本を園用に新しく購入、実際に手に取って見られるように保護者に紹介、貸出絵本として家庭でも親子で楽しめるようにした。	2 おおむね順調	親子読み聞かせ会は、実施の時間帯の問題や参加者人数の問題等の解消が難しいが、毎回楽しみにしている親子もいる。早めにお知らせのポスターを掲示したり、直接声をかけたりするなど、誘い方を工夫し、さらに参加者を増やしていきたい。 また、各クラスの懇談会等での、読み聞かせの機会もいい刺激になっている。
	6 保育所・障がい児通所支援施設等の日常保育の中での読み聞かせの充実	こども未来局	指導監査課	(1)	・子どもの絵本への興味・関心を高める。 ・日常の読み聞かせを通し、絵本に親しみ、子どもの情緒の安定を図るとともに豊かな感性を育む。	・発達段階や興味、活動、季節に応じた絵本の選定や環境作りを行い、子どもが興味や関心を持って見られるようにする。	・絵本コーナーの環境整備、いつでも好きな絵本が手に取れるような環境作り ・各保育室や玄関等に読み聞かせをした絵本や季節や行事に関連した絵本を適宜展示するなど紹介 ・子どもの年齢や発達、興味に合わせた絵本、季節や行事に関連した絵本を毎日の保育の中で読み聞かせや、計画的な絵本の購入、入れ替え等を行って環境を整えた。 ・小人数の時等には、1対1での読み聞かせの機会を意識して作った。 ・子どもや保護者に読み聞かせの良さを発信できるよう、職員自身がその良さを学ぶ機会を設けた。 ・生活発表会では、日ごろクラスで親しんでいる絵本の話を書き題材にしたものを劇遊びにつなげ、話を楽しみ、ことばや体で表現することでより感性が育むようにしていった。	2 おおむね順調	各クラスで毎月購入している月間絵本やその日に読んだ絵本など紹介し、その良さを発信するようにしている。 未満児については、各クラス工夫しながら、1対1での読み聞かせの時間づくりもしている。
			こども発達支援課	(2)	子ども及び保護者に対して、読み聞かせの大切さと楽しさを伝え、本の世界に親しめるように環境を整える。	「療育の中での読み聞かせの推進」 ・発達や障がいに合わせて図書の選択、配慮・工夫を向上させながら、療育の中での読み聞かせを充実し、子どもたちが本の世界に親しめるように環境を整える。 ・保護者に対して読み聞かせの大切さと楽しさを伝え、図書の紹介や、配慮・工夫の支援を行う。	・発達や障がいに合わせて図書の選択、配慮・工夫の向上、療育の中での読み聞かせを充実し子どもたちが本の世界に親しめるような環境作り ・保護者に対して読み聞かせの大切さと楽しさを伝え、図書の紹介や配慮・工夫を支援	2 おおむね順調	

施策の方向	具体的施策	担 当 課		①基本目標	②施策の目標	③計画策定時における内容	④令和元年度実施状況	⑤計画目標達成度 ※③の達成度を1～4のいずれかを選択	⑥備考 成果等報告事項、取組遅滞の理由等
		局	課						
う乳機幼 会児期 づくり からの 大推進 と一緒 に本と 触れ合	7 家庭における読み聞かせの推進	こども未来局	指導監査課	(4)	※5「保護者への読み聞かせの重要性についての啓発」に同じ ・家庭における読み聞かせが習慣となる。 ・「福岡市こどもと本の日」の取り組みが、保護者に広く認知されて読み聞かせが意識づけられる。 ・読み聞かせ等を通して親子の絆を深め、親子とも情緒の安定を図る。	※5「保護者への読み聞かせの重要性についての啓発」に同じ ・保護者会やクラス懇談会、育児講座等で、各年齢に応じた絵本の取り組みや家庭における読み聞かせの重要性について保護者啓発を行い、読み聞かせの楽しさや大切さを伝え、家庭における読み聞かせを推進する。 ・「絵本の日」や「読み聞かせ会」等の開催、絵本貸出しの充実を図る。 ・絵本への興味や関心が高まるような環境設定を行う。	・家庭訪問、保育参観、懇談会、合同研修会、育児講座等で絵本の楽しさを伝え、職員研修グループが親子参加の研修で絵本の読み聞かせを行い、読み聞かせの大切さについて保護者に啓発した。 ・貸出絵本や、家庭で絵本を楽しむ機会を作った。テーマを設けた貸出など絵本への興味や関心が高まるように工夫した。 ・新規購入など冊数を増やし、入れ替えなど絵本コーナーの充実を図り、絵本を選べる環境を整えた。 ・保育の中で読み聞かせた絵本を保育室に掲示することで、子どもと保護者が話したり、興味関心が高まる環境を整えた。	2 おおむね順調	ノーマディアデーと月間絵本の配布を同じ日にすることで、月間絵本を家庭でも読んでいる姿がうかがえる。保護者自身に読み聞かせしてもらう機会を増やし、良さを伝える時間を増やしたい。
		教育委員会	生涯学習課	(1) (5)	P T Aと連携して講座や研修会を実施し、家庭でも子どもが身近に本に親しむ環境づくりを支援する。	福岡市P T A協議会と共催し、家庭での読み聞かせの重要性や楽しさを学ぶ講座を実施する。	家庭での読み聞かせの重要性や楽しさを伝えるため、福岡市P T A協議会と共催し小中学生の保護者対象の家庭で楽しむ読み聞かせ講座を実施R1.10～11月計4回、市民センター130名参加	2 おおむね順調	
あらゆる場と機会をとらえた子ども読書活動の推進	8 子どもプラザにおける子どもの読書活動の推進	こども未来局	事業企画課	(1)	全子どもプラザでの取り組みの実施	乳幼児と保護者がいつでも気軽に利用でき、子育てに関する相談や情報交換ができる子育て支援の拠点として設置する子どもプラザにおいて、利用者のニーズに応え、絵本の読み聞かせなどを実施し、子どもと本の出会いを支援する。	各子どもプラザの実情に応じ、下記を実施 (1)スタッフ又はボランティアによる絵本の読み聞かせ ・読み聞かせを定期的に行っている子どもプラザ 平均 月2回（参加：約20組／回） ・読み聞かせを不定期に行っている子どもプラザ 少人数を対象に随時実施 (2)絵本の貸出（中央区子どもプラザ、城南区子どもプラザ）	2 おおむね順調	
	9 中央児童会館（あいくる）における子どもの読書活動の推進	こども未来局	青少年健全育成課	(1)	子どもが本にふれあう機会を増やし、保護者への啓発を推進する。	図書の閲覧及び貸出、絵本の読み聞かせプログラムを実施する。	前年度に引き続き下記を実施 ・図書の閲覧貸出 ・火～金に実施している子育て支援事業の中での読み聞かせ ・館外活動の中で読み聞かせ ・季節の行事の中で読み聞かせ（クリスマス、ひなまつり、豆まき） ・読み聞かせボランティアの積極的受入 ・子どもプラザ内での読み聞かせ ・寄贈いただいた本を閲覧、貸出できるように登録 ・利用者の読みたい本アンケートを参考に年度内に新規図書を購入予定	2 おおむね順調	読み聞かせの機会を増やすことによって、子ども達が図書にふれる事が増え、読み聞かせのイベントへの参加も増え、興味関心が増えた。
	10 背振少年自然の家における子どもの読書活動の推進	こども未来局	青少年健全育成課	(1)	自然科学等を中心に子ども向け図書を収集、図書コーナーを設置し、子どもがいつでも本に親しむことのできる環境を作る。	ラウンジに設置している図書コーナーにおいて、休憩時間など自由に本に親しめる場所を提供していく。 ・図書資料の充実、更新 ・分野別に分類、整理	前年度に引き続きラウンジ図書コーナーで休憩時間など自由に本に親しめる場所を提供 ・福岡市総合図書館より年間約300冊の図書を借り、種類を増やした ・天文コーナー等の充実、年齢での分野分け ・地域情報、動物の標本の展示 ・キャンプセンターに新たに図書本の設置	2 おおむね順調	キャンプ泊向けにキャンプセンターへ設置して休憩時間に楽しめる場所の提供ができた。
	11 海の中道青少年海の家における子どもの読書活動の推進	こども未来局	青少年健全育成課	(1)	子ども向け図書を収集し、家族利用の際に貸出を進め、子どもだけでなく親子で本に親しむことのできる環境を作る。	海の中道青少年海の家において、施設の特徴を生かした子ども向け図書の収集を進め、子どもの読書活動を推進していく。 ・市民総合図書館から定期的に海の自然に関する図書の配本を受け利用促進を図る ・本に関する情報を提供する ・本の楽しさを伝える	季節に沿ったテーマの本のほかに、利用団体の種別に合わせて英語の絵本やスポーツ関連書を増やし、利用促進に取り組んだ。	2 おおむね順調	利用団体のニーズに沿った図書の設置ができた。
	12 障がい児通所支援施設等での読書活動の推進	こども未来局	こども発達支援課	(2)	※6「保育所・障がい児通所施設等の日常保育の中での読み聞かせの充実」に同じ 子ども及び保護者に対して、読み聞かせの大切さと楽しさを伝え、本の世界に親しめるように環境を整える。	※6「保育所・障がい児通所施設等の日常保育の中での読み聞かせの充実」に同じ ・発達や障がいに合わせて図書の選択、配慮・工夫を向上させながら、療育の中での読み聞かせを充実し、子どもたちが本の世界に親しめるように環境を整える。 ・保護者に対して読み聞かせの大切さと楽しさを伝え、図書の紹介や、配慮・工夫の支援を行う。	・発達や障がいに合わせて図書の選択、配慮・工夫の向上、療育の中での読み聞かせを充実し子どもたちが本の世界に親しめるような環境作り ・保護者に対して読み聞かせの大切さと楽しさを伝え、図書の紹介や配慮・工夫を支援	2 おおむね順調	

施策の方向	具体的施策	担 当 課		①基本目標	②施策の目標	③計画策定時における内容	④令和元年度実施状況	⑤計画目標達成度 ※③の達成度を1～4のいずれかを選択	⑥備考 成果等報告事項、取組遅滞の理由等
		局	課						
あらゆる場と機会をとらえた子ども読書活動の推進	13 その他の施設における子ども読書活動の推進（美術館）	経済観光文化局	(美術館運営部) 学芸課	(1) (2)	美術に関する子ども向けの図書の収集・展示を通して、子どもたちが本に親しみ、本を読む楽しみを見出す環境と作る。	・美術館という特色を生かし、美術、特に所蔵作家に関連する子供向けの図書の収集に努め、子どもの読書活動を支援する。 ・キッズスペースに利用者年齢に応じた絵本・図書を配架し、親子で図書に親しめるよう環境を整える。 ・子ども向け展覧会「夏休み子ども美術館」の会場にて、展示作品や展示テーマに応じた図書を紹介することで、より深い読書への興味を促す機会とする。	・キッズスペースと美術情報コーナーの一角にて常時子ども向け美術図書を配架 ・「夏休み子どもとしゃかん」開催：令和元年7月30日(火)～9月29日(日)利用者数1,268名(夏休み子ども美術館入館者うち子ども人数のみ)	2 おおむね順調	特に集計はしていないが、キッズスペースはほぼ毎日利用者がある。
	13 その他の施設における子ども読書活動の推進（アジア美術館）	経済観光文化局	(アジア美術館運営部) 学芸課	(1) (3)	アジアの絵本や図書の収集・展示、またボランティアによる読み聞かせを通じて、子どもが本に親しむことのできる環境を作る。	・キッズコーナーに、常時アジアの絵本・図書を配架し、子どもの読書活動を支援していく。 ・年間を通じて、当館ボランティアによる月8回の「アジアの絵本と紙芝居の読み聞かせ」を実施し、子どもが本に親しむ場をつくるだけでなく、子どもの読書を促す人材を育成していく。	・キッズコーナーにアジアの絵本・図書を800冊程度配架 ・月に1回（年12回）テーマを設けて特集展示 ・当館ボランティア25名による「アジアの絵本と紙芝居の読み聞かせ」月8回程度（年112回） 子どもと大人合わせて延べ1,174名参加（令和元年12月末現在）	1 順調	令和2年2月より新規ボランティア14名が加わり活動予定
	13 その他の施設における子ども読書活動の推進（博物館）	経済観光文化局	(博物館事業管理部) 運営課	(1)	展示に関する子ども向け図書の収集・閲覧を通じて子どもが本に親しむことのできる環境を作る。	・博物館の特徴を生かし、歴史・民俗・考古・美術に関する子ども向け図書の収集に努め、子どもの読書活動を支援していく。 ・展示に関するコーナーを準備し、子どもが本を手に取りやすい環境を整える。 ・毎年4月23日の「子ども読書の日」を中心に「本と出会えるミュージアム」で本を紹介することによって、新しい知識を得たいという意欲へ繋げる。	・美術や歴史に関する子ども向けの図書を受入 ・展示や季節に合わせた特設コーナーの設置、子どもが興味をもった事柄に関する本を見つけやすい環境作り 4/16～5/16 新年号記念 天皇家と年号を知ろう 5/23～6/12 こども読書週間 特集：考古学って何だろう？ ※オリジナルしおりを配布 5/17～6/28 G20特集 もっと知りたい世界の国ぐに 6/29～8/9 博多祇園山笠 日本の祭 世界の祭 7/6～8/25 長くつ下のビッピの世界展 8/10～9/22 納涼 怪談・妖怪 9/7～11/4 侍展 9/23～11/6 神様の姿（神無月に合わせて）など	2 おおむね順調	子ども向け図書の新規収集冊数は少ないが、特設コーナー設置等の工夫により子どもが本を手に取りやすい環境づくりに努めている。
	13 その他の施設における子ども読書活動の推進（市民福祉プラザ）	保健福祉局	地域福祉課	(1)	福祉分野に関する子ども向け図書の収集、貸出を進める。	子ども向け福祉図書の収集、ホームページ等での図書の紹介を行う。	・広報誌ふくふくプラザだよりに子ども向け福祉図書の紹介を掲載（令和元年8月） ・ホームページで子ども向け福祉図書の情報発信（令和元年8月） ・福祉教育に役立つDVDリスト『視聴覚リスト2019』を作成し、小中学校へ配布（令和元年7月） ・子ども向け福祉図書及び福祉教育に役立つ資料(DVD含む)の収集（通年）	2 おおむね順調	
	13 その他の施設における子ども読書活動の推進（人権のまちづくり館）	市民局	地域施策課	(1) (2)	図書室が、地域で、大人も子どもも気軽に読書を楽しめる場所となるよう環境を整える。	「おはなし会」「子育て・親育ち講座」気軽に子どもが図書室を利用できるよう工夫をするともに、施設の特徴を生かした様々な分野の子ども向け図書の収集を進め、子どもの図書活動を推進する。	「おはなし会」（通年） 8回実施、合計548名参加 人権のまちづくり館にて、中学校ボランティア部が中心となり、乳幼児から保護者を対象に絵本の読み聞かせ等を実施 「子育て・親育ち講座」（通年） 9回実施、合計93名参加 人権のまちづくり館にて、外部講師による絵本の読み聞かせ等を実施し、親子で絵本に親しめる機会を提供	2 おおむね順調	
	13 その他の施設における子ども読書活動の推進（男女共同参画推進センター）	市民局	事業推進課	(1)	子どもの発達段階に応じた読書に親しむ機会を提供する。	児童図書、児童研究資料等の収集、提供を行う。	今年度121冊の児童書を購入(令和元年12月末時点)	2 おおむね順調	
	13 その他の施設における子ども読書活動の推進（科学館）	こども未来局	青少年健全育成課	(1) (2)	ライブラリー活動をととして大人も子どもも展示やイベントで関心をもったことを深堀りし、科学への関心を広げられる環境を作る。	・科学等に関する自由な学習の場として、科学関連を中心とした図書を集積したシステムを設置し、開架式のライブラリーとして気軽に資料の閲覧・貸出を行う。 ・科学関連の児童図書の特集や、子ども向けの読み聞かせイベント等を行う。	【読み聞かせ】 4/20、5/18、6/15、8/17、9/21、10/19、11/2、12/21 季節や特別展の企画に合わせた内容の読み聞かせを実施 2カ月に1度はボランティアスタッフが読み手を担当 【書棚作り】 季節や特別展の企画に合わせた書棚の作成、子どもが本に親しむきっかけ作り	1 順調	毎月1回読み聞かせを実施、認知度も高まり参加者も増えてきている。

2. 学校における読書活動の推進

施策の方向	具体的施策	担 当 課		①基本目標	②施策の目標	③計画策定時における内容	④令和元年度実施状況	⑤計画目標達成度 ※③の達成度を1～4のいずれかを選択	⑥備考 成果等報告事項、取組遅滞の理由等
		局	課						
【重点】 学校図書館の環境整備の充実及び活用の促進	14 学校図書館の活性化（小中高） 《新規》	教育委員会	学校指導課	(1)	学校図書館の活用モデルとなる「学校図書館全体計画」を提示し、学校図書館活性化に向け、各学校が学校長の方針のもと、司書教諭を中心として、組織的に学校図書館運営することができる体制をつくる。	学校司書研修会や学校図書館担当者連絡会において、学校図書館ガイドラインや学校図書館全体計画の作成要領等を周知し、計画に基づく学校図書館運営を図る。	・年度当初にすべての学校で「学校図書館教育全体計画」を作成・提出し、計画に沿って取組を推進、2月末に取組の年度末報告を集約し取組状況を把握 ・令和元年8月22日に学校図書館担当者連絡会で司書教諭と学校司書の連携と学校図書館の活用を促進 参加者数：司書教諭 小学校136名 中学校49名 高等学校4名 学校司書 小・中学校42名 高等学校4名 計235名	2 おおむね順調	
	15 図書の適正な整備	教育委員会	学校指導課	(1)	学校図書館図書標準100%を目指す。	学校図書館の蔵書管理の仕方について、各学校へ周知徹底し、学校図書館図書標準100%を目指す。	令和元年7月に平成30年度末の蔵書冊数を調査、概ね学校図書館図書標準100%を達成 100%達成学校数 小学校134校/144校（93.1%） 中学校 68校/69校（98.6%）	2 おおむね順調	
		教育委員会	学務支援課	(1)		学校長による学校予算の編成、年度中途での予算の組み替えなどによる、予算の弾力的な運用により、学校図書館図書標準の100%達成を図るとともに、達成した学校が学校図書館図書標準の100%を維持していけるよう、必要な予算の確保を行っている。	学校図書館図書標準の100%達成及び維持ができるよう必要な予算を確保し学校へ分配	1 順調	
推進した点 子ども読書活動の実態把握と効果的な学校図書館活用の推進（小中高） 《新規》	16 学校教育における読書活動の実態把握と効果的な学校図書館活用の推進（小中高） 《新規》	教育委員会	学校指導課 生涯学習課 研修・研究課	(1) (4)	朝読書の取組や調べ学習等、読書活動や利用状況の実態を把握し、図書館を活用した教育の充実を図る。	学校図書館の運営状況、子どもの時間の使い方、メディアと読書の関係等について調査を実施。調査の結果を踏まえ、子ども読書活動推進のための施策の検討を行う。	・令和元年8月22日に学校図書館担当者連絡会で学校図書館を使った授業実践を発表 ・令和元年11月一ヶ月間の読書量調査を実施 小学校 一人当たり15.0冊（前年比-0.8冊） 中学校 一人当たり2.7冊（前年比-0.1冊） ・学校図書館教育関係の通知文には、学校図書館の活用を促す文言を随時加えている。	2 おおむね順調	
子ども読書活動に関わる人材の活用と連携	17 学校司書の効果検証	教育委員会	学校指導課	(1) (3)	現在の配置体制における活用方法と連携の在り方について効果と課題を検証し、今後の読書活動の推進に活かす。	読み上げ冊数調査や司書教諭の関わりについての調査を行い、学校司書配置校における効果と課題を検証し、今後の配置体制の検討を行う。	教育支援課と連携し、学校司書対象の学校訪問を行うなど学校司書配置の実態を聞き取り課題等を明らかにした。次年度に向けて、効果検証の方法も検討していく。	2 おおむね順調	
	18 総合図書館との連携による人材育成	教育委員会	学校指導課	(3)	総合図書館と連携し、小学生読書リーダーを養成するとともに、読書リーダーが学校で活躍できるよう支援する。	小学生読書リーダー養成講座を実施するとともに、読書リーダーの活動状況を調査し、各校へ情報提供に努める。	小学生読書リーダー養成講座を3回実施（令和元年6月15日、22日、7月5日）読書リーダー222名認定 次年度は中学生対象の講座も実施検討中	1 順調	
	19 読書活動推進を図る研修の充実	教育委員会	学校指導課	(3)	研修内容を充実し、読書活動に携わる教員の育成を図る。	学校司書研修会や学校図書館担当者連絡会において、学校図書館運営に関する情報や、各校の取組状況等を提供する。	令和元年8月22日に学校図書館担当者連絡会で情報共有を図り、参加者から他校の実践を参考にしたいとの声が上がっている。	2 おおむね順調	
		教育委員会	研修・研究課	(3)	研修講座における研修内容の充実	「研修講座」 ・平成17年度、「本との出会いが楽しくなる読書活動」研修講座を開始して以来、学校での実践や学校図書館での実践に学ぶ研修講座を毎年開催しており、今後も継続実施する。	夏季休業中に研修講座「読書活動」を開催、大学名誉教授による講話や読み聞かせの実演、ビブリオトークなどの参加型演習を実施。総合図書館の学校図書館支援センターとも連携して小・中・特・高の教員が参加、高い満足度を得ている。	2 おおむね順調	
	20 子どもの読書活動推進に関する情報提供	教育委員会	研修・研究課 学校指導課	(3)	図書館教育・読書活動推進に係る情報提供を継続して実施する。	学校司書研修会や学校図書館担当者連絡会において、文科省通知をはじめとする様々な情報を提供する。	「学校図書館活用の手引き」の改定作業中。年度内に完成予定	2 おおむね順調	
【その他】 障がい児の読書活動の充実 多様な学びの場における読書活動及び環境の充実	21 特別支援学校など多様な学びの場における読書活動及び環境の充実	教育委員会	発達教育センター	(1) (3)	障がいのある児童生徒のニーズに合った、特別支援教育における読書環境の充実を行う。	「特別支援教育における読書活動の推進」 ・特別支援学校での読み聞かせボランティアの活動を推進する。 ・特別支援学校における読書活動にかかわる教材教具を充実する。 ・特別支援学校の図書室や視聴覚室など読書環境を充実する。	・令和元年4月各小・中・特別支援学校教科用図書担当者にデジ教科書を紹介 ・令和元年4月デジ教科書について、教育委員会で一括申請し、利用方法等を各学校へ周知。小学校17校、中学校4校、特別支援学校2校から利用申請（R2年1月6日時点） ・令和元年6月21日特別支援学校校長会で学校図書館支援センターが事業案内を説明	2 おおむね順調	

3. 図書館を中心とした読書活動の推進

施策の方向	具体的施策	担 当 課		①基本目標	②施策の目標	③計画策定時における内容	④令和元年度実施状況	⑤計画目標達成度 ※③の達成度を1～4のいずれかを選択	⑥備考 成果等報告事項、取組遅滞の理由等
		局	課						
子どもの発達段階に応じた読書に親しむ機会の提供	22 児童図書、児童研究資料等の収集、提供	教育委員会	図書サービス課	(1) (2)	・子どもが読書の楽しみを発見し、読書に親しむことができるような資料の収集に努め、提供を行う。 ・国内外の児童図書や児童文化の研究及び子どもの読書活動に係る資料、国際理解を深めるための世界の絵本の収集に努め、提供を行う。	・子どもが発達段階に応じ、読書に親しむことができるように児童図書等の収集を体系的、計画的に行い、提供する。 ・国内外の児童文化の研究のための資料や子どもの読書活動に役立つ資料の収集を計画的に行い、提供する。 ・世界の絵本については、広く世界各国の絵本の収集に努め、提供する。	・引き続き児童図書、世界各国の絵本の収集、提供 ・総合図書館と分館で約451,000冊の蔵書（令和元年12月末現在） ・子どもの読書や児童文化を研究するための児童研究資料は、総合図書館で約30,000冊 ・世界の絵本は、69カ国、約6,500冊を収蔵	2 おおむね順調	
	23 子どもと本をつなぐ機会の充実	教育委員会	図書サービス課	(1) (2)	図書館の利用を通じて、より多くの子どもが本につながるような機会の充実を図る。	・子どもが読書の楽しさを知り、読書のきっかけとなり、継続的に読書に親しむことにつながるように、ブックスタートフォローアップの事業やおはなし会等を行う。 ・「図書館の達人講座」や図書館見学、職場体験等を通じ、読書や情報の拠点としての図書館について、子どもの関心を高め、図書館の利用につながる機会の充実を図る。	・ブックスタートのフォローアップ事業として乳幼児向けおはなし会を実施 開催回数188回、参加人数約4,700人（令和元年12月末現在） ・夏休みの自由研究にも役立つ、図書館を利用した調べ学習の方法や図書館利用に関する基本的知識を習得してもらうため、小学4～6年生を対象に「夏休み図書館の達人講座」を令和元年7月26日、8月1日に開催 参加者33名	2 おおむね順調	
	24 図書館からの情報提供等の充実	教育委員会	図書サービス課	(1) (2)	資料や子どもと本、子どもの読書、図書館の利用に関する情報等の充実を図り、積極的に提供する。	・子どもの本や読書についての情報紙「こどもとしゃかんニュース」、ホームページで新刊紹介をする。 ・図書館の利用案内等について、提供内容や方法等を随時検討し、充実させる。 ・各年齢に応じたおすすめの本のリスト「モデル児童図書リスト」を作成し、広く配布する。 ・子どもからのレファレンスや保護者からの読書相談について、的確に対応し、子どもの本に対する興味をより深めるようにする。	・「こどもとしゃかんニュース」発行回数4回、各号約1,400部を配付、ホームページで毎月様々な分野の新刊を紹介 ・こども図書館の利用案内を適宜修正しこども図書館内に設置、「夏休み図書館の達人講座」の際に資料として配布 ・令和元年度「モデル児童図書リスト」約4,700部配布（令和元年12月末現在）令和2年度の作成準備中 ・読書等の相談、こども図書館のレファレンス件数は約6,100件（令和元年12月末現在）	2 おおむね順調	
	25 障がい等のある子どもの支援の推進	教育委員会	図書サービス課	(1) (2)	障がいのある子どもたちにも本と出会う機会づくりを行い、読書の楽しさを実感してもらう。	・こども図書館や分館において、障がいのある子どもに対応する児童図書等の資料の充実を図る。 ・特別支援学校や障がい者施設等に対して、団体貸出や郵送貸出等の制度について、広く周知に努め、利用を促進する。 ・学校図書館支援センターにおいて、特別支援学校への支援を進める。	・子ども向け大活字本約600冊、布の絵本約200点を所蔵、今後も収集 ・団体貸出登録をしている特別支援学校や障がい者施設等に対して貸出 ・学校図書館支援センターで要請のあった特別支援学校を訪問、高等部の卒業生を対象に図書館利用案内を配付予定 ・来館が困難な障がい者に郵送貸出サービスを実施（一定の基準あり）	2 おおむね順調	
		こども未来局	こども発達支援課	(1)	点字図書館だよりを配布し、点字図書館を周知することで、利用推進を図る。	「視覚障がいのあるこどもへの点字図書館の周知」 ・視覚障がいのある子どもと保護者などへ点字図書館の周知を図る。 ・子ども向け点字図書、録音図書、CD図書資料などの収集の充実を図る。	・視覚障がいのある子どもと保護者などへ点字図書館を周知 ・子ども向け点字図書、録音図書、CD図書資料などの収集の充実	2 おおむね順調	
書や活動グア援ダルト世代に対する読	26 ヤングアダルト等への読書サービスの充実	教育委員会	図書サービス課	(1) (2)	読書離れの傾向が見られるヤングアダルト層（中・高校生）等に対して、読書や図書館への興味・関心を喚起するとともに、図書館の利用を促進する。	・総合図書館及び分館にヤングアダルトコーナーを設置し、推薦図書の展示等を行うとともに、ヤングアダルト向けの推薦図書に関するリストを作成・配布することで、読書普及のための広報を実施する。 ・小・中学生に対し、学校図書館支援センターや各学校と連携し、図書館貸出登録を促進する施策を実施する。 ・市立高校に対して、学習支援や今後の支援方法を探ることを目的に、図書館資料の貸出を実施する。	・市立高校に対して一般書架の図書資料を調べ学習用に貸出する制度を試行的に継続 令和元年度貸出冊数32冊 ・8/18に中高大学生を対象にT R P G（テーブルトーク・ロールプレイングゲーム）を実施 参加者15名 司書有志「Y Aを勉強してみる会」主催 ・10/27に全国高等学校ビブリオバトル福岡県大会を実施 参加者13名 よかたい図書館共同事業体主催	2 おおむね順調	

施策の方向	具体的施策	担 当 課		①基本目標	②施策の目標	③計画策定時における内容	④令和元年度実施状況	⑤計画目標達成度 ※③の達成度を1～4のいずれかを選択	⑥備考 成果等報告事項，取組遅滞の理由等
		局	課						
学校図書館の支援【重点】	27 学校教育における読書活動の推進支援	教育委員会	図書サービス課	(3)	児童の主體的・意欲的な読書活動を推進し，豊かな心の育成と学力向上を図る。	「小学生読書リーダー養成講座」 小学5～6年生を対象に小学生読書リーダー養成講座を実施する。	小学生読書リーダー養成講座を6月15日，22日，7月6日に実施 認定者222名（65校）	2 おおむね順調	
	28 学校図書館との連携強化	教育委員会	図書サービス課	(1) (5)	学校の授業や子どもたちの読書活動において，子どもたちが有効な情報を収集し，効果的に活用する能力をはぐくむとともに，子どもたちが本に触れ，本に親しむ機会を創出することを目的として，学校図書館への支援を行う。	①学校図書館への団体貸出の拡充 ・団体貸出による読書活動用図書の貸出 総合図書館団体貸出で所蔵する図書を，学校図書館や学級文庫に，1回につき1,000冊以内，4ヶ月の範囲内で貸し出す。また，利用促進のための広報を行うとともに，利用しやすい貸出方法などを検討し，学校図書館等への貸出の充実に努める。 ・学校図書館支援センターによる学習支援用図書の貸出 調べ学習など授業で活用する学習支援用図書（小学校用・中学校用）を貸し出すとともに，順次学習支援用図書の充実に努める。 ②学校図書館の活用・利用促進支援 ・学校図書館支援センターで，学校図書館を効果的に運営できるように学校訪問や運営相談を実施し，学校図書館の活用や利用促進に関するアドバイスする。	①学校関係の団体貸出登録数は79校，貸出冊数は39,567冊 学習支援用図書の貸出の登録数は171校，貸出冊数は6,193冊（令和元年12月末現在） ②支援実績 ・学校図書館支援センターだよりの発行 2回 ・相談件数 175回 ・学校訪問件数 83回（36校）	2 おおむね順調	
地域の読書活動の支援	29 公民館や地域文庫活動への支援	教育委員会	図書サービス課	(2) (3) (5)	家庭・地域における子どもの読書活動を活発化することを目的として，身近な図書館としての地域文庫活動，子どもの読書に関するボランティア活動の支援を行う。	「地域文庫活動の支援」 ＜団体貸出の拡充＞現在，団体貸出の利用がない公民館等への情報提供や，地域文庫活動に関する相談対応等の支援を行うことにより，新規登録団体を増やし団体貸出の拡大を図る。 ＜読書活動ボランティア講座の開催＞地域における読書活動のリーダーである読書ボランティアの育成と資質向上を目的として，読書活動ボランティア講座を開催する。また，「地域文庫マップ」を作成して講座終了者へ配布し，地域文庫活動に関する情報提供を行う。 ＜地域文庫交流会の開催＞地域のニーズを把握し，実情に合った支援が行えるよう教育委員会生涯学習課と連携しながら，地域文庫ボランティア同士の情報交換とネットワークの構築，活動の活性化を図るために地域文庫交流会を開催する。	・登録団体数は415団体うち地域文庫87団体（令和元年12月末現在） 配本冊数は平成31年4月～令和元年12月で160,600冊 ・読書活動ボランティア講座の開催 ・「読み聞かせコース」を令和元年5月～6月に実施，延べ343名が参加 ・「ストーリーテリングコース」を令和元年9月から実施，令和2年2月で終了予定 ・「地域文庫マップ」を作成，講座受講者へ配布 ・地域文庫交流会を令和2年2月に実施予定	2 おおむね順調	

4. 家庭・地域・学校等の連携の推進

施策の 方向	具体的施策	担 当 課		①基本目標	②施策の目標	③計画策定時における内容	④令和元年度実施状況	⑤計画目標達成度 ※③の達成度を1 ～4のいずれか を選択	⑥備考 成果等報告事項、取組 遅滞の理由等
		局	課						
読書（本）の 魅力の発信【重点】	30 福岡市子ども 読書フォーラムの 充実	教育委員会	生涯学習課	(2) (3) (5)	「福岡市子どもと本の日」の 啓発イベントとしての「子ども 読書フォーラム」をより身近な 場所で開催することで、子ども の読書活動の重要性を認識して もらう啓発の機会とし、各家庭 や地域、学校で子どもと大人に 読書活動の場を提供する。	・市民の読書団体の活動の様子 の紹介、学校などでの読書活動 への取り組みの報告、読み聞かせ を実施する。 ・子どもと保護者、市民とボラン ティア団体等子ども読書関係者 が集まり、相互交流や情報交換 の重要な場となるため、市民全 体の取組みとなるように広く参 加団体を募る。	読み聞かせボランティア団体や 市立学校、書店商業組合など関 係団体と読書フォーラムを開催 R1.11.30 アミカス（男女共同 参画センター）2～4階 8団体 参加 来場者約595名	1 順調	本年度は市立高校が不参加だっ たため総合図書館YAコーナーを 充実 ビブリオバトルでは中学生 も発表者となり参加者の最多得 票で優勝
	31 読書（本）の 魅力に触れ合う きっかけづくり 《新規》	教育委員会	生涯学習課	(3) (4) (5)	本の魅力を知る人から情報を 発信することで、子どもや保 護者に本の魅力を伝える。	ホームページやSNS等を活用し た情報発信や、コンテストの実 施などによる本の魅力発信を行 う。	・教育委員会ホームページで 福岡市子どもと本の日通信やお すすめ本の紹介を掲載 ・中学生の読書啓発として先生 のすすめ本チラシに中学生同士 が本を薦めあう記入欄を新設、 新中学1年生へ配布 ・SNS等活用の他都市事例を調 査中	2 おおむね順調	
発達段階に 応じた子どもと本とメディアの よい関係づくり【重点】	32 メディアリテ ラシー教育の推進	教育委員会	生涯学習課	(4)	子どもがメディアを適切に使い こなすことができるよう、メ ディアリテラシー教育を推進す る。	保護者や子育て関係者等に、ワ ークショップなどを通じて、メ ディアや家庭でのルールづくりに 関する情報を提供していく。	中学校の入学説明会で保護者向 けに啓発リーフレットの配布、 学校やPTAの要望に応じて講師 の派遣などメディア利用に関する 啓発を実施	2 おおむね順調	
	33 読書活動とメ ディアの関係づく り《新規》	教育委員会	生涯学習課 学校指導課 図書サービス 課 研修・研究課	(4)	子どもの発達段階と、その時期 での適切なメディア使用を考慮 し、読書とメディアのよい関係 づくりを目指す。	専門家等の意見を聞きながら、 子どもの発達段階と、適切なメ ディア使用を考慮した読書活動 を検討し推進する。	・昨年度の有識者や関係部署と の検討会議結果を踏まえ、中 学生の読書啓発として先生の おすすめ本チラシに中学生同士 が本を薦めあう記入欄を新設、 新中学1年生へ配布 ・福岡市に本社があるゲーム 制作会社の経営者等に本や読 書についてのアンケートを依 頼、中学・高校生が読書に関 心を持つようなメッセージの 発信を依頼中	2 おおむね順調	
		こども未来局	指導監査課	(4)	「福岡市こどもと本の日」の 取り組みが保護者に広く認知 されて、読み聞かせが意識づ けられる。家庭においてメ ディアとのよい関係づくりが 意識されるよう支援する。	・保護者会やクラス懇談会、育 児講座等で、各年齢に応じた 絵本の取り組みや家庭における 読み聞かせの重要性、メディア の子どもへの影響等について 保護者に伝えていく。 ・「絵本の日」や「ノーメディア の日」を設ける等、意識でき る工夫を行う。	・毎月23日をノーメディアデー とし、親子での絵本の読み聞 かせを推奨したり、ノーメディ アデーの前日にノーメディアカ ードを配布して取り組みを強 化、ノーメディアデーに合わせ て絵本の読み聞かせ会を実施 ・保護者会やクラス懇談会、家 庭訪問、送迎時、育児講座等、 各年齢に応じた絵本の取組み や家庭における読み聞かせの 重要性、メディアの子どもへ の影響等について保護者に伝 え、メディアに代わる遊びを紹 介したり、啓発のポスターを各 クラスに掲示 ・保小中の連携を大切にし、 ノーメディアデーの取組みを推 進 ・保育の中で読み聞かせを行 った絵本を展示	2 おおむね順調	保護者に温度差があり、関心 がない保護者への周知方法の 検討を要するが、意識する だけでも効果があるように 感じている。
	34 「福岡市子ども と本の日」と「共 読」の推進	教育委員会	生涯学習課	(4) (5)	「福岡市子どもと本の日」（毎 月23日）が市民に広く認知さ れ、この日を中心に大人と子 どもが共に「共読（ともど く）」などの読書活動を行 い、また、子どもの読書のた めに自主的な市民活動が開 催されるよう啓発していく。	・「福岡市子どもと本の日」 をきっかけにして、子どもが 保護者とともに読書に親しむ など、市民への啓発を行う。 ・「共読（ともどく）」などの 推進することで、家庭や地域 などあらゆる場所での読書活 動が実施されるよう啓発し、 書店や出版業界を始め、企 業と共働するなど、連携を進 めていく。	・映画配給業者と共同して「 共読」や「福岡市子どもと本 の日」を啓発するポスターを 作成、学校や公共施設に配布 （2回実施） ・毎月23日に福岡市庁舎内 で市長による子どもと本の 日の周知啓発を呼びかける放 送を実施、学校向けの掲示 版に福岡市子どもと本の日通 信を配信	2 おおむね順調	

施策の方向	具体的施策	担 当 課		①基本目標	②施策の目標	③計画策定時における内容	④令和元年度実施状況	⑤計画目標達成度 ※③の達成度を1～4のいずれかを選択	⑥備考 成果等報告事項，取組遅滞の理由等
		局	課						
家庭・地域・学校・図書館等が連携し課題解決を図るための体制の強化	35 子ども読書関係団体との連携による子ども読書の推進	教育委員会	生涯学習課	(5)	福岡市子ども読書活動推進計画（第3次）の進捗状況を把握し円滑な進捗に向けた検討を行う。	「福岡市子ども読書活動推進会議」図書関係者等による同会議を設置し，年2回実施する。同会議において，計画の進捗状況を把握するとともに，子どもの読書活動推進のために課題解決に努める。	福岡市子ども読書活動推進会議を実施，計画の進捗状況を把握し，子ども読書活動推進の課題等について協議 第1回 R1.7.16 委員23名 第2回 R2.1.28	2 おおむね順調	
	36 PTAとの連携による家庭での読書活動の推進	教育委員会	生涯学習課	(1) (5)	※7「家庭における読み聞かせの推進」に同じ PTAと連携して講座や研修会を実施し，家庭でも子どもが身近に本に親しむ環境づくりを支援する。	※7「家庭における読み聞かせの推進」に同じ 福岡市PTA協議会と共催し，家庭での読み聞かせの重要性や楽しさを学ぶ講座を実施する。	家庭での読み聞かせの重要性や楽しさを伝えるため，福岡市PTA協議会と共催し小中学生の保護者対象の家庭で楽しむ読み聞かせ講座を実施 R1.10～11月計4回 130名参加	2 おおむね順調	
	37 保育所における関係機関・地域ボランティアとの連携の推進	こども未来局	指導監査課	(5)	・公民館や子育てサークル等において地域ボランティアとの連携を図る。 ・地域の未就園児親子に，絵本の楽しさや親子触れ合いの大切さを伝える。	・子育てサークルやサロン等に参加し，読み聞かせを実施する。 ・保育所内外での読み聞かせ（読書活動）の充実に向け，図書館や公民館等の関係機関や地域ボランティアと連携を図る。	・公民館や子どもプラザ，人権まちづくり館の育児支援，子育てサークルやサロン，子育てイベント等の中で，絵本の楽しさや重要性を知らせる絵本の読み聞かせや展示を実施 ・関係機関の担当者との打ち合わせ等連携を図り，参加者の年齢や興味に応じた具体的な計画を立案，実施 ・人権まちづくり館の絵本コーナーを月に1回，4～5歳児で利用 0，1，2歳児の親子も利用できるようお知らせを掲示	2 おおむね順調	絵本コーナーの整理を進めているが，利用しにくい場所にあるため活用が十分とは言えない。場所の変更は園舎の構造上難しいが，絵本の充実と合わせて各クラスで取り組みを進めている。
	38 障がい児通所支援施設等における関係機関・地域ボランティアとの連携による取組みの充実	こども未来局	こども発達支援課	(2) (5)	ボランティア団体との連携により，こども及び保護者に対して読み聞かせの大切さと楽しさを伝え，本の世界に親しめるように環境を整える。	出版業者，点字図書館のほか，おもちゃ図書館，朗読・拡大写本などのボランティア団体との連携により，障がいのある子どもたち向けの図書の作成・充実を図り，保護者にもその活用を進める。	出版業者，点字図書館，おもちゃ図書館，朗読・拡大写本などのボランティア団体との連携により，障がいのある子どもたち向けの図書の作成・充実を図り，保護者にもその活用を促進	2 おおむね順調	